

# Markdownサンプルファイル

---

サンプルです。

## 目次

---

- [はじめに](#)
- [見出し](#)
- [見出し2](#)
  - [見出し3](#)
- [段落](#)
- [書式設定](#)
- [リスト](#)
- [リンク](#)
- [画像](#)
- [コードブロック](#)
- [表](#)
- [ブロッククォート](#)
- [水平線](#)
- [まとめ](#)

## はじめに

---

このMarkdownサンプルファイルは、Markdownの基本的な書式オプションを示すためのものです。Markdownは、テキストを簡単に読みやすい方法でフォーマットするための軽量なマークアップ言語です。

## 見出し

---

Markdownの見出しは、`#` 記号を使って作成します。`#` の数によって見出しのレベルが決まり、`#` が最も大きい(H1)、`#####` が最も小さい(H6)です。

# 見出し1

---

## 見出し2

---

## 見出し3

### 見出し4

### 見出し5

### 見出し6

## 段落

---

Markdownの段落は、空行で区切られた単純なテキストブロックです。新しい段落を作るには、Enterキーを2回押します。

これは最初の段落です。

これは2番目の段落です。

## 書式設定

---

Markdownでは、以下の構文を使ってテキストを書式設定できます:

- 太字: **\*\*太字\*\*** => 太字
- 斜体: *\*斜体\** => 斜体
- 太字かつ斜体: **\*\*\*太字かつ斜体\*\*\*** => 太字かつ斜体
- 取り消し線: ~~~~取り消し線~~~~ => 取り消し線

## リスト

---

Markdownでは、順序付きリストと順序なしリストの両方がサポートされています。

順序なしリスト:

- 項目1
- 項目2
- 項目3

順序付きリスト:

1. 項目1
2. 項目2
3. 項目3

## リンク

---

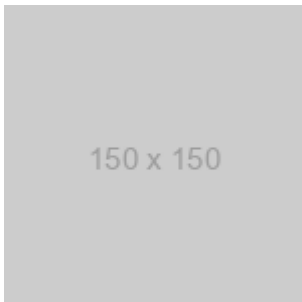
Markdownでリンクを作成するには、以下の構文を使います:

[リンクテキスト](#)

## 画像

---

画像を含めるには、以下の構文を使います:



## コードブロック

---

Markdownでコードブロックを作成するには、コードを4つのスペースでインデントするか、バッククォート(`)`を使います。

インデントされたコードブロック:

```
print("Hello, World!")
```

フェンスされたコードブロック:

```
def hello():  
    print("Hello, World!")
```

## 改ページ

---

`<div class="page" />` を使います。

# 表

Markdownで表を作成するには、以下の構文を使います:

| 列1     | 列2     | 列3     |
|--------|--------|--------|
| 行1, 列1 | 行1, 列2 | 行1, 列3 |
| 行2, 列1 | 行2, 列2 | 行2, 列3 |

# ブロッククォート

Markdownでブロッククォートを作成するには、`>` 記号を使います。

これはブロッククォートです。  
複数行にわたることができます。

# 水平線

Markdownで水平線を作成するには、3つ以上のハイフン、アスタリスク、またはアンダースコアを使います。

# まとめ

これがMarkdownの基本的な書式オプションの概要です。  
より高度な使用方法については、Markdownのドキュメントを参照してください。